

各位

2020年12月30日

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

**Spiber株式会社をオリジネーターとする  
事業価値証券化取引(Value Securitization)の実行について**

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 荒木 三郎、以下「三菱UFJモルガン・スタンレー証券」)は、このたび、Spiber株式会社(取締役兼代表執行役 関山 和秀、以下「Spiber株式会社」又は「同社」)をオリジネーターとし、同社の「Brewed Protein™」事業を対象とする「事業価値証券化(Value Securitization)」と呼ばれる資金調達手法(以下「本スキーム」)の組成においてアレンジャーを務め、2020年12月28日付で本スキームによる同社の総額250億円の資金調達が完了しましたので、お知らせします。

Spiber株式会社は、構造タンパク質素材「Brewed Protein™(ブリュード・プロテイン™)」を開発する、山形県鶴岡市に拠点を置くバイオベンチャーです。Brewed Protein™は、植物由来の糖類を主原料に使用し、微生物による発酵(ブリューイング)プロセスにより製造され、用途に応じて多様な特長を付与することが可能です。そのため、アパレル分野や輸送機器分野など、様々な産業における脱石油・脱アニマルのニーズに対し大きな役割を果たせる可能性を秘めており、持続可能な社会の発展に資する次世代の基幹素材と目されています。

本スキームは一般的なコーポレート・ローンとは異なり、同社が有する先進的な研究開発設備及びタイ国における量産プラント等の有形資産に加え、同社の根源的資産かつ競争力の源泉である知的財産等の無形資産の価値を最大限活かし、大規模調達を実現するために設計された、革新的な資金調達手法です。

本スキーム実行において、当初貸付人兼クレジット投資家として、2020年12月28日付で株式会社三菱UFJ銀行(取締役頭取執行役員 三毛 兼承)が参画しました。また、本スキームの組成に際し、森・濱田松本法律事務所及びアンダーソン・毛利・友常法律事務所が法律顧問を務め、また、EY JapanのメンバーファームであるEYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社が価値評価業務を提供しました。

昨今、SDGs企業への投資ニーズが高まる中、Spiber株式会社との今般の協働により、スタートアップ企業における従来の株式を通じた資金調達手法に限定されない、幅広いクレジット投資家様が参加可能な手法を実現したことで、日本における卓越した研究開発や事業を推進し、先進的な技術力を持つ企業の資金調達、およびこれら企業に対するクレジット投資を促進する道を切り拓くことができたものと考えております。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、国内外の法人のお客様を対象に、様々な有形資産・無形資産を対象とする流動化取引やメザニンファイナンス、その他新規性の高い各種金融ソリューションを提供しております。各産業分野におけるお客様のESG及びSDGsへの取組が加速する中、経済・社会の構造変革を促す新技術、代替技術の導入や商業化を支援する金融ソリューションの提供を一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上